



ハゲタカ親分の

孤独な カスタマー

第28回

PROFILE 溝井 禎浩

昭和×年6月24日生まれ(年齢不詳)。新潟で生まれ、東京中野を経て、神奈川県相模原市で青春を謳歌する。クルマ好きの父の影響で、カーカスタムに没頭。自らユーザーとして活躍した後、平成12年3月4日(こだわりの1・2・3・4!!)に神奈川県相模原でセクシーカスタムを立ち上げる。イベント会場でも発見しやすい身長183cm+自称、髪の毛は少なめ(笑)がトレードマーク。最近のマイブームは、仕入れと勉強をかねて訪れている中国。

みぞい よしひろ



illust. by SOH

DIYをもっともっと応援したい!

ちよりーす! しかし、連日連夜30度超えはつらいすよね。みなさん夏バテしていませんか? 最近、セクカムではDIYで色々できるパーツや部材に力を入れています。そして、購入者のみなさんから色々メールをもらって多くなりました。今月は写真を送ってくれた方の紹介と、質問で多いことをピックアップしていきたいと思っています。

「汎用プロジェクターキット」

一番多い質問が配線です。車両によって、プラスで信号がきているもの(プラスコントロール車)と、マイナスで信号がくるもの(マイナスコントロール車)の2種類があります。最近のクルマはマイナスコントロールがほとんどです。プロジェクターキットには、両方の配線キットが付いています。自分のクルマはどちらを使えばいいの? この質問が本当に多いですね。

確かにビギナーがこの判断をするのは難しいと思います。テスターを使って調べる方法が一般的ですが、最近ではインターネット上に情報がある場合が多いですね。

原理的な説明をしますと、電気はプラスからマイナスに流れるわけですから、コネクタに常時待機しているのは、プラスなのか? マイナスなのか? それに対して、スイッチを入れた時にだけくる信号がプラスなのか? マイナスなのか? これでプラスコン



お客様投稿

「この間、水漏れ確認もかねて洗車しました。そうすると右のイカリリングが点滅。急いでボンネットを開けてチェックするとインバーター周辺が濡れている…。すぐにはずして乾かしたら、ちゃんと点灯してひと安心。取り付け位置も大事なんですね」。



お客様投稿

「プロジェクターの取り付けを完了しました。ヘッドライトの中に側面発光LEDテープを付けてさらに青く光らせてみました」。

トロール車かマイナスコントロールか決まるわけです。文章で説明するのは少し難しく、申し訳ないのですが、こさきえくリアでできれば、あとは「コネクタ」を合うモノをはめるだけなので、それほど問題はないと思います。あとやっかいなのはカラ割りですね。よく温めるのがポイント。固定しているブチルゴムを無理に引く張らず、温めながらゆっくりとはずしていくことが重要です。ブチルを無理矢理引く張つてはまずい、後で水が入る原因になります。

「カスタムカーボン調シート」

さてカーボン調シートですが、これにはちょっとした裏話があります。一番の問題は発売当初パートナーとしてやつてもう予定のプロジェクトの社長が現在連絡が取れない状態になってしまったんです。このシートはカーボン調シートの紹介とともに、施工シートとして雑誌でも紹介されています。それを見て連絡をしていた方に大変ご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

そんな経緯があり、カスタムカーボン調シートはパートナーシップ無しで、今後DIY用アイテムとして発売を続けることにしました。

もちろん、僕も自分でボンネットに貼ってみました。正直、ボンネットなどの大きな面積を一人でやるのは無理です。二人は必ず、理想でいえば三人で作業したいところですね。二人でシートを合わせ二人は霧吹き専門でどんどん吹きかける。これがベスト!

そして貼ったあとは、真ん中から水を逃がしていくのですが、もちろんボンネットは真っ直ぐじゃないので、プレスラインに合わせて貼っていくと、外側でシワになつてしまつて多いんです。そこを、上手にドライヤーを使いながら、温めて伸ばしながらシワを引っ張る感じで貼っていくと比較的うまくできます。とにかく、時間をかけて、根気よくやるのがポイントですね。

SEXY CUSTOM

セクシーカスタム



◎神奈川県相模原市中央区東淵野辺5-7-1 ☎042-730-3505
◎10:00~20:00 ◎月曜日 http://www.sexy-custom.com

お客様投稿



「はじめてのDIYで不安でしたが無事貼ることができました。友人に手伝ってもらいながら作業して、ボンネット正面部分で少し失敗をしたんですけど、あまり目立たなかったのもそのまま続行して、スポーティなおデになりました。友人と協力しながらの作業は楽しかったです」。

そもそも、なんでもそうですが、初めからできる人なんていないんです。失敗も勉強ですから。失敗を恐れていては、何もできないと思います。多少うまくいかなくても、自分でやった満足感、達成感っていうのはやらないきゃわからないですね。確かにDIYはトータル費用が安くなる分、それなりのリスクもあるわけです。それを承知でDIYを楽しんでいる人も多いですよ。僕としてはうれしい限りなんです。とはいえ、失敗が嫌な人も多いでしょう。そういう人は、迷わずプロジェクトに相談してください。そんなわけで、僕個人的には、DIYをどんどん応援していきたいと思っています! see you next month!